

平成29年第24週 県中保健福祉事務所感染症レター

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第24週	第23週	第24週		第23週		第24週		第23週		第24週		第23週		第24週		第23週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	16	46	0	3	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
咽頭結膜熱	31	25	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	160	156	13	0	14	0	6	0	9	0	0	0	0	7	0	5	0	0
感染性胃腸炎	213	213	42	24	53	19	40	12	53	7	0	5	0	3	2	7	0	9
水痘	56	32	24	35	5	9	19	14	4	5	0	20	0	3	5	1	1	1
手足口病	4	4	1	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	24	44	3	0	7	0	2	0	3	0	0	0	0	0	1	0	4	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	17	34	9	5	19	19	0	0	0	0	0	0	0	9	5	19	19	0
RSウイルス感染症	52	32	15	3	4	1	15	0	4	0	0	3	0	1	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	12	16	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況
〈県中地域でRSウイルス感染症の流行がみられます〉
 県中地域、主に須賀川・岩瀬地区でRSウイルス感染症患者が増加しています。RSウイルス感染症の症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。しかしながら、初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれており、特に乳児期早期（生後数週間～数カ月間）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。RSウイルス感染症の感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児とされています。そのため、0歳児と1歳児に日常的に接する人は、咳などの呼吸器症状がある場合、飛沫感染対策としてマスクを着用することが大切です。また、接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどをこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石鹸による手洗いとアルコール製剤による手指衛生の励行を行うことが重要となります。



咽頭結膜熱（プール熱）に注意しましょう！ 

咽頭結膜熱とは

- アデノウイルスの感染により、発熱(38~39℃)、咽頭炎、結膜炎といった症状をきたす小児に多い疾患です。
- 通常6月頃から徐々に流行しはじめ、7~8月にピークとなります。
 ※今年是全国的に流行しており、患者数は現時点で2007年以降最多となっています。
- 感染経路は、通常、飛沫感染あるいは接触感染であり、結膜や上気道からの感染となります。プールを介した場合には、汚染した水から結膜への直接的な感染が原因となります。

予防するために

- プールを介しての流行に対しては、プールの塩素濃度を適正(遊離残留塩素濃度が0.4mg/l以上、1.0mg/l以下)に維持することが対策となります。また、プールの後はシャワーを浴びるようにしましょう。
- 流水と石けんによる手洗い、手指の消毒を励行することが重要です。
- タオル等の共有など、感染者との密接な接触は控えましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページへ
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakaku-kansenshou17/01.html>